

授業と評価の年間計画

教科	地理歴史	科目	世界史B	
使用教科書(発行所)	詳説世界史B改訂版(山川出版社)			
履修条件 対象生徒	選択 普通科(文型) 2年			
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を、日本の歴史と関連づけながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業】 教科書(山川出版社)と授業プリントを中心に授業を展開する。歴史的事項を単に暗記するのではなく、歴史の流れや同時代史的な横のつながりの把握、歴史的意義の理解が重要である。</p> <p>【家庭】 事前に教科書の授業範囲に目を通して授業に臨むこと。また問題集や用語集を活用して理解していない箇所を確認すること。</p> <p>【補習・その他】 補習は原則として授業を進める。世界史を扱った番組などを視聴することも理解を深めることの一助となる。</p>			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1)中間考査まで ア 先史の時代 イ オリエンとと地中海世界 (2)期末考査まで ウ アジア・アフリカの古代文明	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の誕生以降の先史世界を理解する。 ・文明発祥の地であるオリエンと文明と地中海に成立したギリシア・ローマ文明、及びその交互の関わりについて考察する。 ・南アジア、東南アジアの風土・自然を理解し、そこに成立した文明について学ぶ。 		
	2 2学期 (1)中間考査まで エ 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 (2)期末考査まで オ イスラーム世界の形成と発展 カ ヨーロッパ世界の形成と発展	<ul style="list-style-type: none"> ・中国文明の成立と発展を理解する。 ・南北アメリカ文明について考察する。 ・魏晋南北朝以降の中国史を理解し、我が国に与えた影響について考察する。 ・文明が交錯した場としての内陸アジアの歴史的意義について考える。 ・イスラーム世界の自然・風土とその発展を理解し、イスラーム世界の多様性について考察する。 ・ヨーロッパ文明の成立と発展を学び、現代の文明について考察する。 		
	3 3学期 (1)学年末考査まで キ 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・宋代以降の東アジア文化圏の統合がゆるんだ時代について複数の周辺民族を事例に考察する。 ・その集大成として登場したモンゴル族が構築した大帝国について学ぶ。 		
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	現代の世界が形成されるまでの歴史的過程を意欲的に追究し、国際社会に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代の世界が抱える諸問題の歴史的背景を、因果関係を踏まえて適切に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	年表や資料、地図など、歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を捨選択することを通じ、現代世界が抱える諸問題の歴史的背景を適切に表現する。	現代世界が形成されるまでの経緯や現代世界が抱える諸問題の歴史的背景を理解し、その追究の方法を理解し、身に付けている。
評価方法	定期考査や課題考査の成績を重視するが、授業における課題等の提出状況や出欠状況、授業態度も含め総合的に判断して評価する。			
その他	史料(資料)を用いた学習、主題を設定し追究する学習を実施する。実施時期については授業で指示する。大学入試共通テストは、歴史の展開や歴史上の意義を理解していなければならない。そこで、図説の写真や地図、教科書の脚注や史料にも注意を払わなければならない。			

